

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・夜間部	2年	4期	池田 晃一		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師として、各損傷を正しく評価するために、それに関わる解剖学的構造と機能の理解を含め、その損傷の発生機序から合併症まで同時に学んでいくことで理解を深めていく。							
目標							
<b>一般目標 (GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師に関わる事が多い「損傷」を中心に、それに係わる解剖学的要素(運動器の構造・役割、作用等)の知識を学び、理解を深める。						
	<b>到達目標 (SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 各損傷に関わる解剖学的構造や機能を説明することができる。 2. 各損傷の発生機序を理解する。 3. 各損傷の発生機序から損傷名を想像できる。 4. 各損傷の合併症・後遺症を説明できる。					
履修に必要な予備知識や技能							
柔道整復学で学んだ知識を応用して理解する。配布資料を基に予習をして受講時に理解度を確認する。							
教科書・参考書							
『柔道整復学・理論編 第6版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂) 『柔道整復学・実技編 第2版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)							
受講上の注意							
使用教科書・配布資料必携。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	90					10	100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	上肢の損傷(頸部・顎関節部・肩部)			p.220～p.262	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第2回	上肢の損傷(肘部)			p.263～p.304	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第3回	上肢の損傷(手部)			p.304～p.350	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第4回	上肢の損傷(上肢複合)			p.220～p.350	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第5回	下肢の損傷(股・大腿部)			p.351～p.383	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第6回	下肢の損傷(膝部)			p.383～p.410	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第7回	下肢の損傷(下腿部)			p.411～p.424	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第8回	下肢の損傷(足・足趾部)			p.424～p.457	教科書・配布資料 ・筆記用具		
第9回	定期試験				筆記用具		
第10回	試験解説				教科書・筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
接骨院を開業し四半世紀以上、主に四肢の骨折や軟部組織損傷の症例について施術した経験から、当科目の四肢損傷について講義します。							
メールアドレス							
ikedata@nihonisen.ac.jp							